

令和３年度スマート水産業推進事業のうち数量管理システム強化事業のうち
国際資源の漁獲情報包括管理事業のうち
漁獲成績報告の実装・集計実績報告書実績報告書

住所 神奈川県横浜市神奈川区新浦島町１－１－２５
テクノウェイブ１００ ６階
漁獲情報デジタル化推進事業共同研究機関
代表機関
国立研究開発法人 水産研究・教育機構
代表者 理事長 中山 一郎

１ 事業の実施状況

ア 調査項目及び調査対象

令和３年度スマート水産業推進事業のうち数量管理システム強化事業のうち国際資源の漁獲情報包括管理事業のうち漁獲成績報告の実装・集計仕様書に基づき事業を実施した。

イ 事業実施期間

令和３年４月１日～令和４年３月３１日

ウ 事業の成果（又はその概略）

かつお・まぐろ漁業漁績のデータ入力、エラーチェック、データ集計およびデータ編纂として、漁業者から提出されたはえ縄の漁獲成績報告書については、まず水産資源研究所で未記入箇所と誤記入のチェックを行った。その後、みずほリサーチ＆テクノロジーズ株式会社が入力、エラー検出と修正を行い、水産資源研究所が暦年ごとのデータへの編纂作業を行った。竿釣りおよび海外まき網の漁獲成績報告書については、水産資源研究所による入力の実施に加えて、はえ縄の漁獲成績報告書とおおむね同様のエラー検出、エラー修正とデータ編纂の各処理を実施した。水産庁からの依頼により、漁獲成績報告書データ等を用いて各種の集計・分析を54件行った。漁獲情報管理Webシステムサーバの運用・保守として、①管理者を設置し、システム、コンテンツ導入時のセキュリティ対応を行い、セキュリティ確保のためのインシデント作業発生時の対応策を定めた。②漁獲情報管理Webシステム及びサーバの運用・保守として、システム公開運用中のセキュリティ監視を行った。また、データベースのバックアップを週次を実施したほか、脆弱性対策として、Log4jライブラリのセキュリティリスクが発表された際に、当該システムでの影響がないことを確認した。